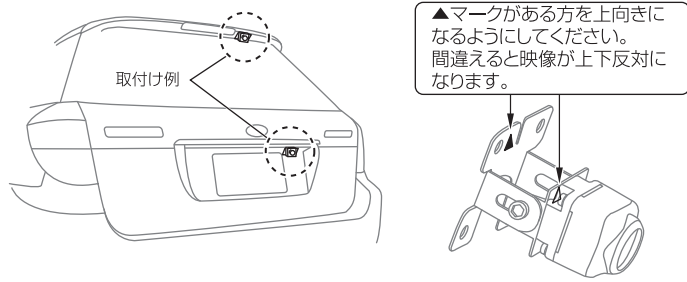


取付け接続方法

1.カメラの取付け位置を決める

取付け例を参照して、カメラ・取付け台が車体へ干渉しない位置へカメラを取付けしてください。
※仮止めして角度を調整することをオススメします。

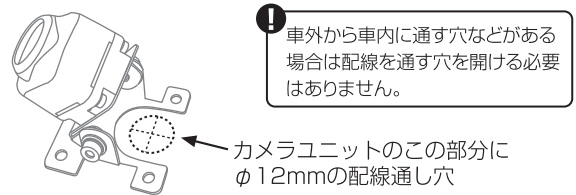


車両の取付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行いカメラが車両や車両部品にあたらぬことを確認してください。
取付け位置に凸凹がなく平らな面でカメラ取付け台の接着面が全て接着でき六角レンチで角度調整ネジ（両側）の締め付けができることを確認してください。

△注意！
・カメラがナンバープレートにかからないように取付けてください。
・カメラはなるべくガーニッシュの左右中心に取付けてください。
・左右に大きくずれて取付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
・バックドアやトランクの開閉時にカメラやケーブルがあたらぬことを確認してください。

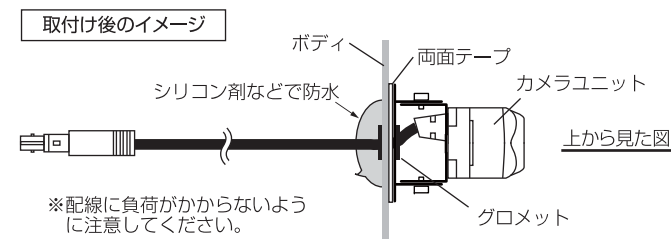
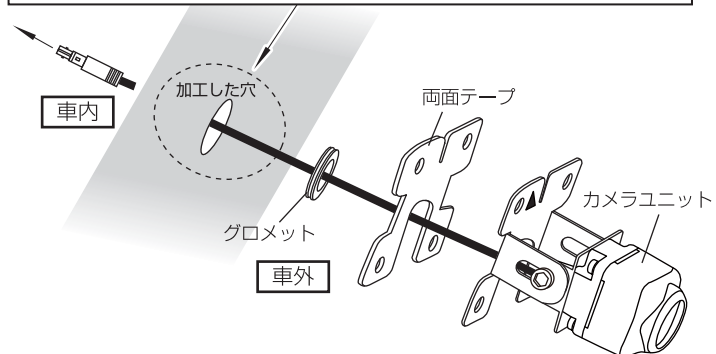
2.カメラを取付ける

1. バックドアの内側化粧パネルを外す。
2. カメラユニット取付け部にケーブル配線用の穴（φ12mm）をドリルで開けます。



3. グロメットにケーブルを通します。バックドアの外側から加工した穴にカメラユニットのコンネクターを通します。
(両面テープを貼り付ける前に必ず脱脂処理を行ってください)
グロメットを加工した穴にはめ込み、両面テープでカメラを固定します。

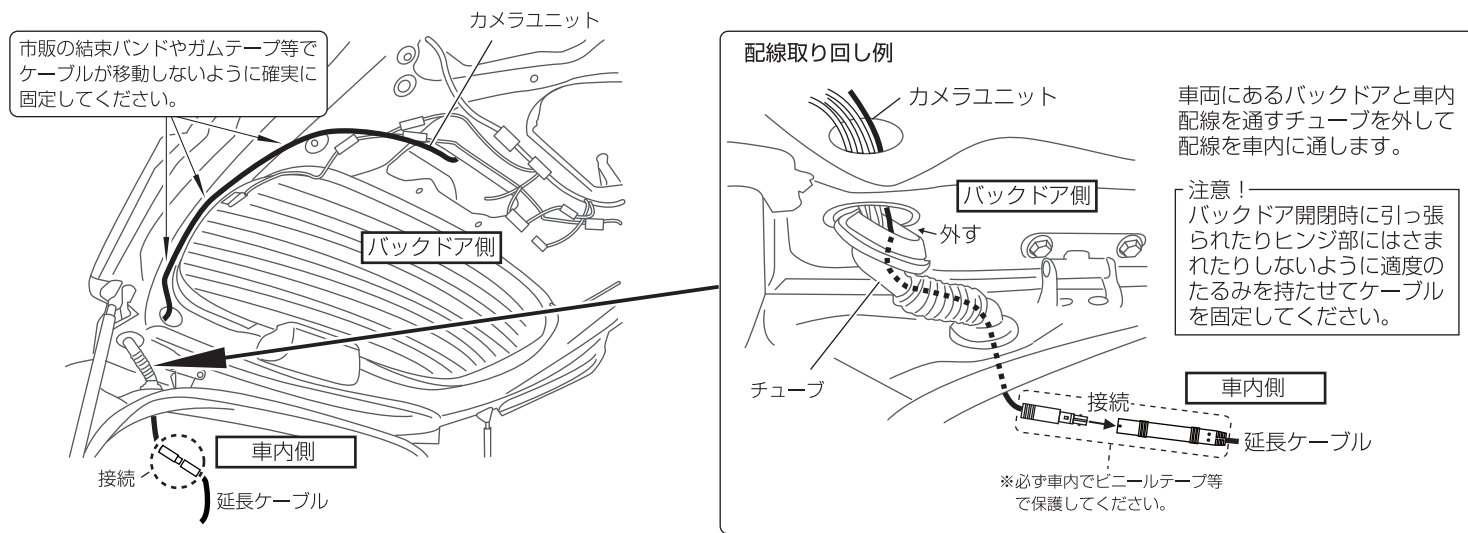
△注意！
取付け後、加工した穴の付近を必ず車外から雨などが入らないようにシリコン剤などで防水処理を行なってください。
また加工した穴の断面及び周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り十分に乾燥させてください。サビ等の原因となります。



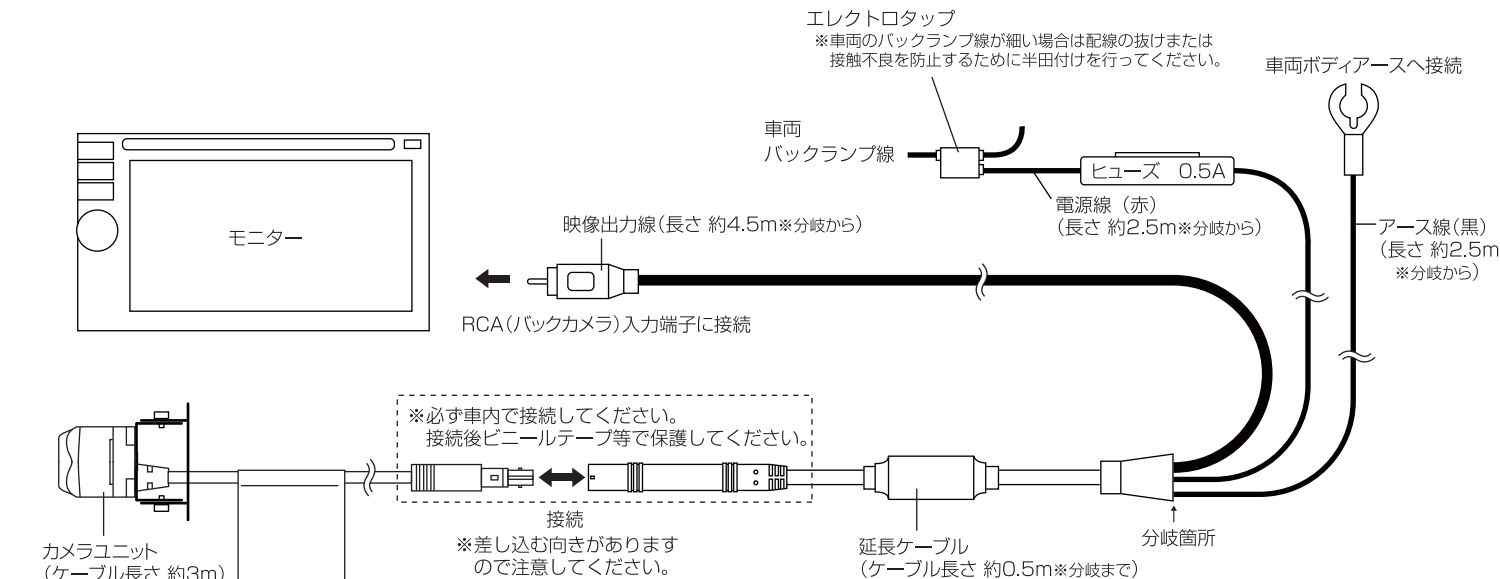
3.バッテリーを外し、ケーブルを配線してモニターに接続する

1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. カメラユニットと延長ケーブルを接続してモニターまで配線します。
※コネクターは防水仕様ではありませんので必ず車内で接続して接続箇所をビニールテープ等で保護してください。

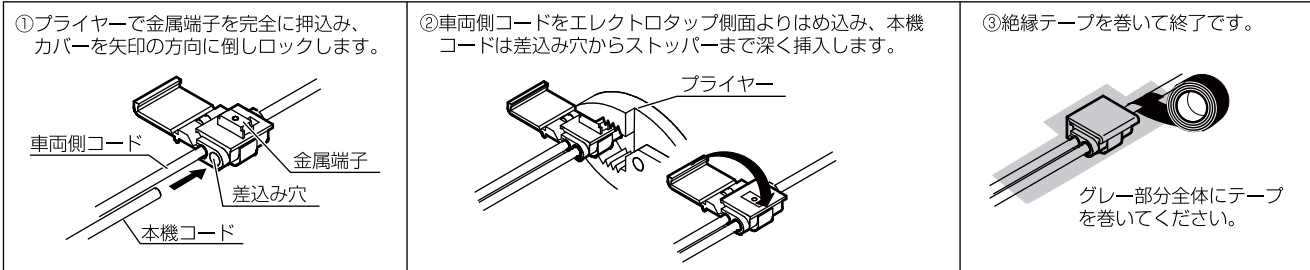
△ バッテリーを外す前に
・コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
・一部の車種（輸入車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。



3. 下記図のように各配線を接続します。
①アース線を車両のボディアースに接続します。
②電源線を車両のバックランプ配線にエレクトロタップで接続します。
【バックランプ配線とは】リバーランプ（バックランプ）が点灯した時に12V、消えてる時に0Vの線です。
③映像出力線をモニターのRCA（バックカメラ）入力端子に接続します。

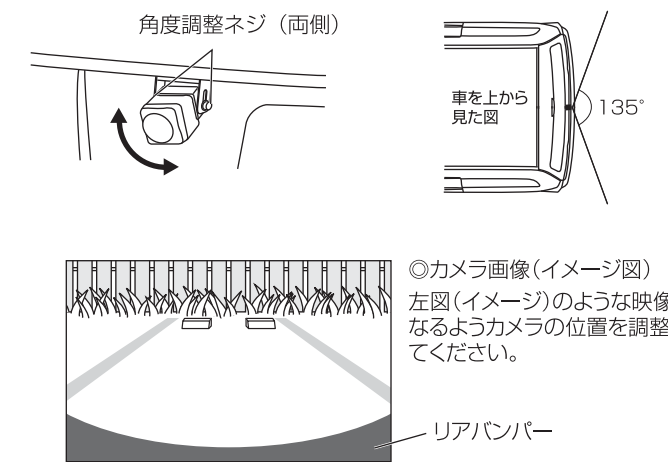


◇エレクトロタップ使用方法



4.確認する

1. 車を水平な場所へ停車します。
2. カメラ両サイドの角度調整ネジを緩めカメラの角度を調整します。
3. イグニッションキーをONにしてシフトレバーをリバースに入れます。モニターの映像を見てカメラの角度を再調整します。
※2名で確認作業をすることをお勧めします。
4. モニター表示がよければ六角レンチで角度調整ネジをしっかりと締め付けます。



△注意！
カメラの角度を調整するときは、必ずイグニッションキーをOFFにし、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。
車両が動くことの原因となります。

5.取付け後

- ・ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認してください。
 - ・車のバックランプ配線と接続をしています。バックランプが正しく点灯するか確認をしてください。
 - ・加工穴断面及び周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り十分に乾燥させてください。サビ等の原因となります。
 - ・配線を通した部分は市販のシリコン剤でしっかりと防水処理を行ってください。
- 処理ができていないと雨などの水が車内に入ることがあります。また、配線のはさみ込みにも注意してください。

Q&A 故障かな?と思う前に

- Q：映像が映らない
A：下記の部分を確認してください
- ・電源線、ボディアース線は確実に接続されていますか？
 - ・電源線のヒューズが切れてませんか？
 - ・ケーブルの断線、コネクタが外れたりしていませんか？
 - ・映像出力端子が外れていませんか？
 - ・カーナビの設定はバックカメラになっていますか？
(お使いのカーナビの取扱説明書を参照ください)